

プログラム名 (40字以内)	アラブ首長国連邦の「いま」		
団体名/所属	東京大学GS+I総括寄付講座 UAE(アラブ首長国連邦)赤門会		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	6人	選考対象	大学院学生を含まない
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	・学部1～3年生(英語による解説が理解でき、英語が公用語であるUAEの大学で学生と交流できる程度の英語力を有すること)・日本国籍所有者		
活動期間	2024/9/6(金)～ 2024/9/16(月)	主な活動予定場所	アラブ首長国連邦・アブダビ首長国(アブダビ市、アルアイン市)、ドバイ首長国
プログラム実施の目的	化石燃料の輸出に依存する経済から脱却すべく、世界の金融の中心となることを志向し、また、再生可能エネルギー源に関わる技術開発を進めつつあるアラブ首長国連邦(UAE)の「いま」を、単に側聞するのではなく、身を以て体験して学ぶ。		
具体的な内容(800字程度)	<p>世界最高の超高層ビルや世界最大の人工島など、アラブ首長国連邦(UAE)の砂漠に突如出現した「沸騰都市」ドバイは、世界中からの投資を取り込み、急成長を遂げている。UAEの首都である「石油都市」アブダビは、その近代性、安全性、快適性により、世界的にも高い評価を受けている。アブダビ首長国とドバイ首長国は、共に大規模な太陽光発電を推進しており、再生可能エネルギー源への転換を図っている。ドバイ郊外に建設された「サステイナブル・シティ」は低エミッションを志向する新しい街として注目を集めている。</p> <p>本プログラムは、化石燃料の輸出から脱却すべく、世界の金融の中心となることを志向し、また、再生可能エネルギー源に関わる技術開発を進めつつあるUAEの「いま」を、単に側聞するのではなく、その実情を、身を以て体験して学ぶことを目指している。それは、本学の学部生にとっては、中東の近代国家UAEという未知の世界との接触であると共に、自分の将来の選択肢に通じる体験でもある。</p> <p>本プログラムに参加する学生は、ドバイとアブダビにある日系の諸機関を訪問し、そこで働いている、本学のOB/OG等との交流を通じて、日本人がUAEで働くことの意味を実感する。アブダビ首長国には最先端の技術開発を担う「ハリファ大学(KU)」があり、本学とは学生および教員の交流を実施している。本プログラムに参加する学生はKUの研究者や学生と交流し、エネルギー開発に携わっている専門家の話に耳を傾ける。ドバイ首長国では日本企業がUAEで行っている様々な活動を学び、太陽光発電所や「サステイナブル・シティ」を訪問する。更には、UAEのルーツである古都「オアシス都市」アルアインを訪れ、オアシスに赴きその実態を観察すると共に、王家の人々が学ぶ名門校「UAE大学(UAEU)」の学生と交流する。</p>		
【総額】参加するための費用	280,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	80,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	200,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	現地交通費 実費		
奨励金額(予定)	80,000円		
備考	<p>【問い合わせ先: 今泉】 imaizumi@hotaka.t.u-tokyo.ac.jp</p> <ul style="list-style-type: none"> 書類選考通過者のみ面接を実施する 宿泊は2名で1室をシェアする(他の参加者と同室である) 日本国籍の所有者のみが応募できる(本プログラムの実施に適用する外部資金からの制約)。 応募団体より2名がプログラムの実施全期間について同行する。 本プログラムは「UAE(アラブ首長国連邦)赤門会」の全面的な支援と、安全に関する(現地に在住する日本人の観点での)助言を得て実施する。 UAEでは外務省による危険情報は発出されていないが、在UAE日本大使館による「安全の手引き」を全参加者に配布して、その遵守を徹底することで安全な行動を担保する。 		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	なし		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体が応募の場合)	東京大学GS+I総括寄付講座 Khulifa University UAE University Sustainable City in Dubai		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		